様式第１５号（第１５条関係）

入 居 協 議 書

　　 　　　　年　　月　　日

福岡県立飯塚研究開発センター

指定管理者

公益財団法人飯塚研究開発機構　理事長　殿

住　所（法人及び団体の場合は、所在地）

氏　名（法人及び団体の場合は、名称及び代表者氏名）

署名又は記名押印

福岡県立飯塚研究開発センターへ入居したいので、関係書類を添えて次のとおり協議します。

記

１　入居希望室

|  |  |
| --- | --- |
| 区　　分 |  |
| 研究開発室 |  |
| 試作室 |  |

＊ ２室を併せて使用したい場合は、その旨を記入してください。

＊ 希望が多い場合は、入居室の調整を行う場合があります。

２　入居予定期間

　　　　　年　　月　　日　～　年　　月　　日（　　年　　　カ月）

３　連　絡　先

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所在地 |  | 電話番号 | － 　－ |
| 所　属 |  |  |  |

４　そ　の　他（要望事項等）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　※　別紙事業計画書（１）若しくは（２）及び会社経歴書、前事業年度の決算書、会社案内等を添付してください。

　※　事業計画書(1)は、研究開発のために入居したい場合に、事業計画書(2)は、入居企業等の研究開発や事業活動等を支　　　援する企業等として入居したい場合にご使用ください。

事　業　計　画　書 （１）

　　　 　 ［独自の研究開発企業等用］

この事業計画書は、入居審査の資料といたしますので、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できるかぎり詳細にご記入ください。

１　入居希望企業（企業の１部門のときは、部門）の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | （部門） | | | | |
| 勤務予定者数 | 総数　　　　　名　（うち男子　　名、うち女子　　名） | | | | |
| 就業時間 | ： ～ ： | | 休　日 | |  |
| 希望駐車台数 | 台 | LAN希望 | | 有　・　無 | |

２　入居して行おうとする研究開発等の概要

(1) 研究開発等の産業分野（次の４分野から選んで記号に○をしてください。）

Ａ　　情報関連産業分野　　　　　　Ｂ　　理化学産業分野

Ｃ　　新素材産業分野　　　　　　　Ｄ　　ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ､ﾒｶﾄﾛﾆｸｽ産業分野

(2) 研究開発等の具体的内容（新規性、特徴等を踏まえて具体的に）

(3) 研究開発等のスケジュール（年別に事業化の可能性も含めて）

(4) 研究開発等の体制（自社の体制及び、大学、高専、公設試、他企業との共同研究体制を具体的に）

(5) 研究開発等にかかる資金計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資金計画 |  | 摘　　　　　　　　要 |
| 自己資金 | 千円 |  |
| 借 入 金 | 千円 |  |
| 助 成 金 | 千円 |  |
| そ の 他 | 千円 |  |
| 合 計 | 千円 |  |

(6) センターへ持ち込む主要設備・機器・原材料・資材等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名　　　　　称 |  | 数　量 |
|  |  |  |

(7) その他（研究開発等の対する企業等の代表者のお考え等）

３　入居された場合、研究開発等以外に福岡県立飯塚研究開発センターをどのよう　に活用したいか、ご意見を自由にご記入ください。

事　業　計　画　書 （２）

　［入居企業等を支援する企業等用］

この事業計画書は、入居審査の資料といたしますので、

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 できるかぎり詳細にご記入ください。

１　入居希望企業（企業の１部門のときは、部門）の概要

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 企業名 | （部門） | | | | |
| 勤務予定者数 | 総数　　　　　名　（うち男子　　名、うち女子　　名） | | | | |
| 就業時間 | ： ～ ： | | 休　日 | |  |
| 希望駐車台数 | 台 | LAN希望 | | 有　・　無 | |

２　入居して行おうとする研究開発や事業活動等の支援の概要

(1) 支援分野（次の分野から選んで○をしてください。）

Ⅰ　研究開発支援　　　Ⅱ　事業活動支援　　　Ⅲ　その他

※　Ⅰに○をつけた方は、次の４分野から研究開発支援分野を選んで○をしてください。

Ａ　　情報関連産業分野　　　　　　　Ｂ　　理化学産業分野

Ｃ　　新素材産業分野　　　　　　　　Ｄ　　ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ､ﾒｶﾄﾛﾆｸｽ産業分野

(2) 支援の具体的内容（支援の対象、内容、特徴等を踏まえて具体的に）

(3) 支援の効果（入居企業のメリット、技術の高度化や起業化に資する内容を踏まえて具体的に）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (4) 支援体制（センター内での体制及びセンター外のバックアップ制度を具体的に）

(5) 支援にかかる資金計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資金計画 |  | 摘　　　　　　　　要 |
| 自己資金 | 千円 |  |
| 借 入 金 | 千円 |  |
| 助 成 金 | 千円 |  |
| そ の 他 | 千円 |  |
| 合 計 | 千円 |  |

(6) センターへ持ち込む主要設備・機器・原材料・資材等

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 名　　　　　称 |  | 数　量 |
|  |  |  |

(7) その他（支援に対する企業等の代表者のお考え等）

３　入居された場合、支援以外に福岡県立飯塚研究開発センターをどのように活用　したいか、ご意見を自由にご記入ください。